

## 令和4年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会議事概要

開催日時及び場所	令和4年11月21日(月) 11:00~12:00 本部管理棟2階 第二会議室	
委 員	委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授) 委員 上原 道子(上原道子行政書士事務所) 委員 田里 友治(税理士法人 SOUTH POINT)	
審議対象期間	令和3年10月1日~令和4年9月30日	
抽出案件(合計)	6 件	①委員長の選出 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項3条にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。 ②審議事項 抽出案件について、資料に基づき、事務局より工事等概要説明及び契約手続の説明を行った。質疑応答があり、内容を点検及び確認し、全ての案件が問題無しと承認された。
工 事(小計)	5 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	1 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	4 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	1 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

質問	回答
<p><b>1. 建設工事の入札・契約状況について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>2. 設計・コンサルティング業務の入札・契約状況について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <p>・特になし</p> <p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b></p> <p><b>①琉球大学(病院)中央設備機械室吸収式冷温水発生機改修工事</b> (事務局より概要及び契約内容の説明)</p> <p>・参加要件を広げたくれども結果として1社となっている。参加要件を広げる以外にも、参加者を増やす工夫は行ったのか。</p> <p>・本案件の病院は、西普天間キャンパスのことか。</p> <p>・いずれ病院が移転することを踏まえ、長期的にはどのような整備を行っているのか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・参加業者に求めた実績については、大学に不都合のない範囲で参加業者が僅少とならないよう求める実績を検討し、競争参加資格等審査委員会の審議を経て入札公告を行いました。</p> <p>本案件については、工事内容が病院の中央設備であったことや改修設備がパナソニック製であったことなどから、沖縄パナソニック特機株式会社のみが参加したと思われます。</p> <p>・西普天間キャンパスではなく、現在病院がある上原キャンパスのことです。</p> <p>・上原キャンパスの工事は、今後西普天間キャンパスへ移転することを踏まえ、当面、事業継続が行える範囲で必要最低限の改修に留めて行っています。</p>
<p><b>②琉球大学(千原)教育学部校舎本館棟照明等改修電気設備工事</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・入札参加業者が多かった理由は何か。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・本件は、他工種との調整もいらない電気設備単独工事であること、また照明改修工事のみの単純な工事だったことから業者が多かったと推測します。</p>

質問	回答
<p><b>③琉球大学(西普天間)エネルギーセンター等新営その他工事</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・どのような場合に政府調達対象案件となるのか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・入札公告時の予定価格の概算が基準額以上の工事が対象案件となります。令和3年度の基準額は6億9千万円です。</p>
<p><b>④琉球大学(西普天間)基幹・環境整備(配電線路等)工事</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・契約金額が小さい割には、工期が長いのではないか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>他工事との日程調整が必要であるため、適切な工期を設定しています。</p>
<p><b>⑤琉球大学(千原)工2号館等改修電気設備工事(Ⅱ期)</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・④と⑤の契約業者が同じ、三協電設株式会社となっている。 三協電設株式会社の資格は電気工事のB等級だが、④と⑤は工事場所が異なっており、両方の工事への技術者の人員配置には支障がないのか。 ⑤の工事については、電気工事のA等級の業者の方が良かったのではないか。</p> <p>・琉球大学の施工実績があると優位な評価になるのか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・④の工事については、入札公告時に電気工事のA、B又はC等級の業者の参加を求めました。 また、⑤の工事については、入札公告時に電気工事のA又はB等級の業者の参加を求めました。 結果としてはどちらもB等級の三協電設株式会社が落札しましたが、それぞれの工事の競争参加資格確認時に、各々別の技術者を配置予定であること、両方の工事を落札した場合に人員配置において支障がないことを確認しました。どちらの工事も入札公告時に予定価格の概算を考慮したうえで、A等級を含めて資格等級の設定を行っています。</p> <p>・琉球大学の施工実績があれば評価が優位になることはありません。</p>
<p><b>⑥琉球大学(千原)工2号館等改修(Ⅱ期)設計業務</b> (事務局より概要説明)</p> <p>・落札率がかなり低い。低入札価格調査を行ったということだが、どのような調査を行ったのか</p> <p>・1者失格とあるが、原因は何だったのか。</p> <p>以上により、「手続き等について問題なし」と承認された。</p>	<p>・低入札の要因について、ヒアリングや調査資料の提出等により確認を行いました。 今回、総合評価落札方式を採用したことで競争が働き、確実に受注するために企業努力により入札価格を抑えることができたのではないかと推測します。設計業務は工事と比較して、資材購入の必要がなく、人件費のみを考慮すればよいことから、参加業者の意向を反映させやすかったと考えられます。 また、今回Ⅱ期設計業務ということで、Ⅰ期設計業務のデータを参考に参加業者に配布していたこともあり、データを活用することで人件費の削減に繋がったと推察されます。</p> <p>・入札の参加条件として設計業務の実績を求めましたが、主任技術者の実績が設計業務ではなく、設計監理業務の実績だったため、失格としました。</p>